

おたっしや通信

新年のご挨拶

今年も新しい年を迎えることができました。

昨年は、いろいろなことがあり、やっと落ち着いて新年を迎えることができ、うれしく思います。昨春にヘルパー派遣事業所をひとつに統合し、秋に配食の厨房を統合し、スタッフの意識が、フェリスモンテの一員だと思いはじめたと感じられることがうれしいことです。

今年はその思いを各活動分野に拡げ、ひとつの法人「フェリスモンテ（幸福の山）」として、各分野助けあって、幸福の山を築いていけたらと思います。

理事長 山王丸 由紀子



「鶉飼」地元の歴史と能 温故知新
えなみ能
2016年1月17日（日）
都島中学校 体育館
大阪市ボランティア活動振興基金



地域共生型デイサービス モデル事業 スタート

昨年十一月より、「地域共生型デイサービス」のモデル事業（生野区内の事業所のみ対象）として、大阪市の登録を受けることになりました。

現在、「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方と「療育手帳」をお持ちの方の二名が、基準該当の「生活介護」利用として、他のお年寄りの方々とともに、「おたっしやデイサービス」で過ごされています。

平成十五年から富山で適用されるようになった取組みが、平成十八年から全国で実施できるようになってから

も、大阪市では多くの大都市と同様に、高齢者／障害者向けそれぞれの施設が通える範囲に複数あるということや、ともに過ごすことのリスク面などの話が先に出てしまい、ともに過ごすことの相乗効果や、共生という理念に向けての話まで、なかなか至ってはいませんでした。

富山のNPO法人「このゆびとーまれ」からは、長年、大阪にも数多くご講演にお越しただいており、「大阪宅老所・グループハウス連絡会」、「地域共生ケア生野推進委員会」なども結成され、多くの有志が集まり、社会福祉協議会、役所とともに協議を重ね、

新たな枠組みが設けられ、今回の実施に至りました。

「数年前、八十代のご夫婦のところへ介護保険としてヘルパーがお宅に行くと、玄関先に布団を敷き、髪は伸び放題、手の爪も数十センチ伸び、入浴も長い間されていらないという状態の五十代の娘様がいらっしゃいました。」

ご近所の方もあまりご存知なかったそうで、医療機関や行政機関などにかかることなく、約二十年間過ごされてきたようです。

お母様が施設に入所し、一人暮らしになった後、通っていた訓練施設も休むようになり、福祉サービスとの縁が切れてしまっていたようです。

障がい福祉サービスの認定手続きを行い、ヘルパーとともに、生活の質を取戻してやることができました。

この間、ほとんど他者とかかわりがありませんでした。今では近所のお家に遊びに来るように、親世代の方々と一緒に手芸をしたり、テレビを見てお話を

したりしています。他の高齢者の方とすぐに言い合いをするお年寄りの方も、娘世代の方と一緒にいるときは、穏やかに過ごされています。

お二人の事例について、「地域共生型デイサービス」の登録を受けることにより、従来の制度サービスが届きにくい方に、制度を使って連続性を持って支援することもできるようになり、事業所にも報酬が入るようになり、支援の継続性は高まるように思います。

高齢者、障がい者、子どもなどはもちろん、多様な人々が安心してともに過ごすことができる「地域共生」という観点からすると、まだまだ限定的な「共生」の場づくりですが、一歩ずつ、共に、進めてまいりたいと思います。

おたっしやケアプラン

管理者 隅田 耕史



■発行
特定非営利活動法人
フェリスモンテ
■連絡先
大阪市旭区太子橋 1-23-15
tel 06-6958-0011
E-mail ota-sha
@viola.ocn.ne.jp

活動概要

高齢者向け事業

- グループハウス
- ヘルパー派遣
- 配食サービス
- デイサービス
- ケアプラン
- 移動サービス
- 見守りサービス

地域交流事業

- コミュニティ喫茶・居酒屋
- サークル・教室活動
- 小中高生の夕食会

子育て応援事業

- 親子のつどいの広場事業
- 幼児一時預かり事業

障害者向け事業

- ヘルパー派遣
- 配食サービス
- 就労困難者等支援事業
- デイサービス



おたっしや通信

新年のご挨拶

今年も新しい年を迎えることができました。

昨年は、いろいろなことがあり、やっと落ち着いて新年を迎えることができ、うれしく思います。昨春にヘルパー派遣事業所をひとつに統合し、秋に配食の厨房を統合し、スタッフの意識が、フェリスモンテの一員だと思いはじめたと感じられることがうれしいことです。

今年はその思いを各活動分野に拡げ、ひとつの法人「フェリスモンテ（幸福の山）」として、各分野助けあって、幸福の山を築いていけたらと思います。

理事長 山王丸 由紀子



「鶉飼」地元の歴史と能 温故知新
えなみ能
2016年1月17日(日)
都島中学校 体育館
大阪市ボランティア活動振興基金



地域共生型デイサービス モデル事業 スタート

■発行
特定非営利活動法人
フェリスモンテ
■連絡先
大阪市旭区太子橋 1-23-15
tel 06-6958-0011
E-mail ota-sha
@viola.ocn.ne.jp

活動概要

- 高齢者向け事業
 - グループハウス
 - ヘルパー派遣
 - 配食サービス
 - デイサービス
 - ケアプラン
 - 移動サービス
 - 見守りサービス
- 地域交流事業
 - コミュニティ喫茶・居酒屋
 - サークル・教室活動
 - 小中高生の夕食会
- 子育て応援事業
 - 親子のつどいの広場事業
 - 幼児一時預かり事業
- 障害者向け事業
 - ヘルパー派遣
 - 配食サービス
 - 就労困難者等支援事業
 - デイサービス



昨年十一月より、「地域共生型デイサービス」のモデル事業（生野区内の事業所のみ対象）として、大阪市の登録を受けることになりました。現在、「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方と「療育手帳」をお持ちの方の二名が、基準該当の「生活介護」利用として、他のお年寄りの方々とともに、「おたっしやデイサービス」で過ごされています。

平成十五年から富山で適用されるようになった取組みが、平成十八年から全国で実施できるようになってから

も、大阪市では多くの大都市と同様に、高齢者／障害者向けそれぞれの施設が通える範囲に複数あるということや、ともに過ごすことのリスク面などの話が先に出てしまい、

や、共生という理念に向けての話まで、なかなか至ってはいませんでした。

富山のNPO法人「このゆびとーまれ」からは、長年、大阪にも数多くご講演にお越しいただいており、「大阪宅老所・グループハウス連絡会」、

「地域共生ケア生野推進委員会」なども結成され、多くの有志が集まり、社会福祉協議会、役所とともに協議を重ね、



新たな枠組みが設けられ、今回の実施に至りました。

「数年前、八十代のご夫婦のところへ介護保険としてヘルパーがお宅に行くと、玄関先に布団を敷き、髪は伸び放題、手の爪も数十センチ伸び、入浴も長い間されていらないという状態の五十代の娘様がいらっしやいました。

ご近所の方もあまりご存知なかったそうで、医療機関や行政機関などにかかることなく、約二十年間過ごされていたようです。

お母様がデイサービスへ来られるのに合わせて、一緒に来られるようになり、入浴もされたり、徐々に他者とのかわりも持たれるようになりました。親世代の方々や馴染みのスタッフとともに過ごされ、笑顔も度々見られます。」

二年程前、知人の紹介で訪問したお部屋は、数年間の様々な生活用品等が堆積し、腰を下ろしてお話することが困難な状態でした。お母様が施設に入所し、一人暮らしになった後、通っていた訓練施設も休むようになり、福祉サービスとの縁が切れてしまっていたようです。

障がい福祉サービスの認定手続きを行い、ヘルパーとともに、生活の質を取戻していただくことができました。

この間、ほとんど他者とのかわりがありませんでした。したが、今では近所のお家に遊びに来るように、親世代の方々と一緒に手芸をしたり、テレビを見てお話を

したりしています。他の高齢者の方とすぐに言い合いをするお年寄りの方も、娘世代の方と一緒にいるときは、穏やかに過ごされています。」

お二人の事例について、「地域共生型デイサービス」の登録を受けることにより、従来の制度サービスが届きにくい方に、制度を使って連続性を持って支援することもできるようになり、事業所にも報酬が入るようになり、支援の継続性は高まるように思います。

高齢者、障がい者、子どもなどはもちろん、多様な人々が安心してともに過ごすことができる「地域共生」という観点からすると、まだまだ限定的な「共生」の場づくりですが、一歩ずつ、共に、進めてまいりたいと思います。

おたっしやケアプラン

管理者 隅田 耕史



富山のNPO法人「このゆびとーまれ」からは、長年、大阪にも数多くご講演にお越しいただいており、「大阪宅老所・グループハウス連絡会」、

